

講義・演習概要（シラバス）

第1部課程 第121期（平成25年10月24日～3月18日）

課 目 名	自治体の資金調達② 「よりよい自治体の資金調達に向けてー金融基礎知識ー」
時 限 数	1 時限
担 当 講 師	地方公共団体金融機構 自治体ファイナンス・アドバイザー 根本 潤一郎 <プロフィール> 一橋大学 法学部卒 第一勧業銀行（現みずほ銀行）入行。東京、大阪、九州の支店にて、中堅・中小企業向け営業・融資業務に従事。2013年2月よりみずほ総合研究所、2013年4月より地方公共団体金融機構にて自治体ファイナンス・アドバイザーとして地方支援業務に従事。
ね ら い	自治体財政運営を取り巻く環境は過去 20 年間で大きく変化している。地方債資金引受に係る「官」から「民」への流れと、金融自由化により、資金調達は多様化し、自らが市場と向き合い、考え、行動する必要が出てきている。また、多様な選択肢の中から自ら選んだ「選択責任」、議会・住民への「説明責任」を果たすことが求められている。そのためには、「財政」と「金融」知識を効果的に活用することが求められるが、「金融」についてはなじみが薄く、学ぶ機会も少ない。しかし、決して難しいものではなく、しくみ、基礎知識を抑えておけば、十分理解できる。 本講座では、市場と向き合う第一歩として、借入・金利についての基礎知識や、新聞のマーケット欄の見方等を解説し、基本的な資金調達についての金融知識の習得をねらいとする。
講 義 概 要	1. 借入・金利の基礎知識 ・借入とはなにか ・金利とはなにか ・基準金利（調達コスト）とスプレッド 2. 長短金利の決まり方 ・短期金利の決まり方（日銀金融政策） ・長期金利の決まり方 3. 新聞の見方 ・マーケット欄の見方
受講上の注意	
使 用 教 材	講義レジメ、参考資料等配布予定
効 果 測 定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	